

## 第4回 福智町グラウンドゴルフ大会 目標めがけてナイスショット!

9月5日に金田ふれあいスポーツ公園多目的広場で「福智町グラウンドゴルフ大会」が開催されました。各支部予選を勝ち抜いた30チーム180人の精鋭の中、3年連続となる優勝を果たしたのは平均年齢75歳の「東ヶ丘A」チーム。今年は個人表彰なども行われ、例年以上の盛り上がりを見せていました。  
【結果】優勝：東ヶ丘A、同点準優勝：新門上、3位：N・S大和



↑ 32人がホールインワンを出すなど、ハイレベルな戦いが繰り広げられました。

↓ バトカーや白バイの乗車も体験。基本的な交通ルールとマナーを学びました。



## 子 上野小で交通安全授業 子どもたちの命を守るために

福岡県トラック協会主催で、警察官や遠賀自動車学校の職員も来校した「交通安全教室」が、9月10日に上野小の校庭で行われました。横断歩道の渡り方など基本的な説明のほか、トラックが実際に校庭を走って、急ブレーキを実演。段ボールがはねのけられる光景を目の当たりにした児童は、事故の恐ろしさと同時に交通安全の大切さを実感したようでした。

## 教 ユビキタス・エデュテイメント事業 教育現場に新たなシステム導入

情報通信技術を活用してゲーム感覚で学習できる「ユビキタス・エデュテイメント事業」が、町内の全小学校で2学期から導入されました。これは国の交付金約6千万円を受けて実施されたもので、51インチの大型モニターが付いたパソコン計33台を、5校に配置。言葉や計算、地域の問題など300問が用意され、児童の知識や学習意欲の向上を図っています。



↑ 8月31日、伊方小で教諭や関係者15人に向けて開発会社がシステムを説明。

↓ 数々のプレートの中からお気に入りを探る来場者、まとも買いも続出しました。



## 秋 上野の里ふれあい交流会館収穫祭 秋を告げる収穫祭で新米に舌鼓

黄金の稲穂がこうべを垂れ、収穫期を迎えた上野の里で、9月17日から20日まで「ふれあい交流会館収穫祭」が行われ、町内外からの来場者でにぎわいました。みずみずしい新米おにぎりや上野焼のプレートセット(700円)は、400セットが完売するなど人気上々。ふれあい市では赤池梨の新品種「秋月」が旬を迎え、一足早く秋の味覚を堪能できた4日間でした。

↓ かつての激戦地に立った子どもたち、平和の礎で20万人の犠牲者と恒久平和への祈りをささげました。



## 過 2010 沖縄平和学習「少年の翼」 過去最多の38人が美ら島へ

交流事業実行委員会主催による沖縄平和学習「少年の翼」が、8月28日から2泊3日の日程で開催されました。今年で17年目を数える訪問に、過去最多の小学5～6年生38人が参加。4回の事前研修を経て、沖縄県中城村でホームステイし、世界遺産の首里城や中城城跡を見学するなど、琉球文化と沖縄の風土を体感しました。平和学習では、平和祈念公園とひめゆりの塔で千羽鶴をささげ、実際に元学徒隊の体験談やガマ(壕)に触れるなど、沖縄戦の悲惨さと平和の尊さを肌で感じました。

## 福智町憩いの夕べ 猛暑の夜のビアガーデン大盛況

8月28日に商工会主催による「福智町憩いの夕べ」が商工会館前広場で開催され、淡い提灯が揺らめく下、約500人がビアガーデンを楽しみました。メインは赤池スタンプ会の「サマー抽選会」。50人に500円～5千円の商品券が当たり、当選者の歓声が響きました。ラストには花火も打ち上げられ、それぞれの心に残る夏の思い出の一つとなったようです。



↑ 会場中の視線をくぎ付けにした「ミニマジックショー」、不思議の連続でした。

↓ 故人の霊を見送る「灯ろう流し」も、彦山川のほとりできれいに行われました。



## 夏 第5回 水と灯火の夕べ 夏の終わりを華やかに彩る一大イベント

毎年恒例となった「水と灯火の夕べ」が、8月28日に彦山川と中元寺川の合流点河川敷を舞台に開催されました。町内各地から集まったあでやかな浴衣の踊り手約150人が、やぐらを中心に輪になり、踊りを披露。ゲストの藤かおりさんの美声に魅了され来場者も加わって炭坑節などの4曲を舞い終えた後は、800発の花火がイベントの最後を締めくくりました。